

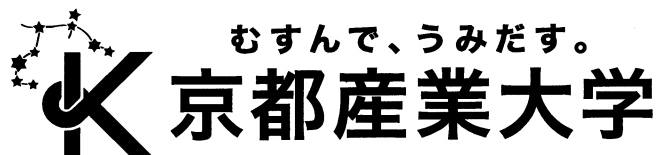
# 2026 年度 総合型選抜入試 問題集

経済・経営・法・現代社会・国際関係・外国語・文化・理・生命科学部

※情報理工学部は、書類審査（1次選考）・個人面接（2次選考）の為、掲載しておりません。

※アントレプレナーシップ学環は、書類・動画審査（1次選考）・個人面接（2次選考）の為、掲載しておりません。

※現代社会学部「社会課題とリーダーシップ」セミナーレポート（1次選考）は、2024年度入試のものを掲載しています。



☆この冊子は、2026年度 総合型選抜入試の問題をまとめたものです。受験者があり、試験を実施した学部・学科（専攻）・学環のみ掲載しています。

☆情報理工学部は、1次選考「書類審査」・2次選考「個人面接」の為、掲載はありません。

☆アントレプレナーシップ学環は、1次選考「書類・動画審査」・2次選考「個人面接」の為、掲載はありません。

☆現代社会学部1次選考「社会課題とリーダーシップ」セミナーレポートは、2024年度入試のものを掲載しています。

— Contents —

《1次選考》

経済学部	P. 1
・One Day セミナー 記述式テスト	
経営学部(マネジメント力選抜)	P. 2
・筆記試験	
法学部法律学科	P. 3
・小論文	
法学部法政策学科	P. 6
・小論文	
国際関係学部	P. 9
・One Day セミナー 記述式テスト	
文化学部	P. 9
・One Day セミナー 記述式テスト	
生命科学部 (学科試験型)	
・化学基礎	P. 10
・生物基礎	P. 12

※出願時に「化学基礎」か「生物基礎」を選択します。

【現代社会学部(次世代型リーダー選抜)】 <2024年度入試>

《1次選考》

社会課題とリーダーシップセミナーレポート	P. 25
----------------------	-------

《2次選考》

外国語学部英語学科	P. 15
・小論文	
外国語学部ヨーロッパ言語学科ドイツ語専攻	P. 15
・小論文	
外国語学部ヨーロッパ言語学科フランス語専攻	P. 17
・小論文	
外国語学部ヨーロッパ言語学科スペイン語専攻	P. 18
・小論文	
外国語学部ヨーロッパ言語学科イタリア語専攻	P. 18
・小論文	
外国語学部ヨーロッパ言語学科ロシア語専攻	P. 19
・小論文	
外国語学部ヨーロッパ言語学科メディア・コミュニケーション専攻	P. 20
・小論文	
外国語学部アジア言語学科中国語専攻	P. 20
・小論文	
外国語学部アジア言語学科韓国語専攻	P. 21
・小論文	
外国語学部アジア言語学科インドネシア語専攻	P. 22
・小論文	
外国語学部アジア言語学科日本語・コミュニケーション専攻	P. 22
・小論文	
理学部数理科学科	P. 24
・数学	
理学部物理科学科	P. 25
・数学および物理	

模擬授業の内容をもとに、以下の設問に答えなさい。

[I] 以下の各文章の括弧内に入る最も適切な語句を答えなさい。

- (1) 経済学の目的は「(ア)を豊かにすること」である。
- (2) マクロ経済学では経済全体の大きな動きについて分析し、ミクロ経済学では(イ)の需要や供給・(ウ)について分析する。
- (3) ある国のGDPは、一定期間に(エ)で生産されたモノ・サービスの生産額を集計したものである。
- (4) GDPに中間財の生産額は含まない。なぜなら中間財を含むと(オ)になってしまうからである。
- (5) 原則として、家事など(カ)で取引されないモノ・サービスはGDPに含まない。
- (6) GDPは(キ)が多い国では大きくなる傾向がある。
- (7) (ク)成長率は経済成長をする実力の程度を測定したものであり、実際の経済成長率とは異なる。
- (8) 需要項目は、消費、(ケ)、(コ)、純輸出で構成される。
- (9) 海外に居住する人が日本に来て消費することは、日本が旅行サービスを(サ)していることになる。

[II] 以下の表にある情報を用いて、(1)から(6)の問いに答えなさい。

	パン		自動車	
	生産量 (トン)	価格 (円/トン)	生産量 (トン)	価格 (円/トン)
2024年(基準年)	50	30,000	10	300,000
2025年	34	40,000	13	200,000

- (1) 2025年の名目GDPの金額をもとめなさい。
- (2) 2025年の実質GDPの金額をもとめなさい。
- (3) 2025年のGDPデフレーターをもとめなさい。小数点以下第二位は四捨五入すること(例「11.5678・・・」→「11.6」)
- (4) (3)の答えをもとに、2025年の物価水準は基準年に比べてどうなったか、できるだけ具体的に説明しなさい。
- (5) 経済成長率をもとめる際、名目GDPと実質GDPのどちらを使って計算するのが適当か答えなさい。また、その理由をできるだけ具体的に説明しなさい。
- (6) 2025年の経済成長率を%(パーセント)表示でもとめなさい。小数点以下第二位を四捨五入し、小数点以下第一位までの値を記入すること。

[III] 労働と資本のみを利用して生産活動を行う国において、労働分配率が30%、資本分配率が70%、労働増加率が1%、資本増加率が3%である場合、この国の潜在成長率が何%になるか答えなさい。

[IV] ある国において、GDPに占める各需要項目のシェアは、消費が50%、投資が30%、政府支出が12%、純輸出が8%であった。また、この国の需要項目の変化率は、消費が2%、投資がマイナス1%、政府支出が2%、純輸出が1%であった。この情報を用いて、以下の(1)から(4)の問いに答えなさい。

- (1) この国の経済成長率を%表示でもとめなさい。小数点以下第二位を四捨五入し、小数点以下第一位までの値を記入すること。
- (2) 消費の寄与度を%表示でもとめなさい。
- (3) 政府支出の寄与度を%表示でもとめなさい。小数点以下第二位を四捨五入し、小数点以下第一位までの値を記入すること。
- (4) 内需と外需の寄与度を%表示でそれぞれもとめ、どちらが大きいかわけ答えなさい。寄与度は、小数点以下第二位を四捨五入し、小数点以下第一位までの値を記入すること。

(問題終わり)

以下の設問 [ I ] および [ II ] のすべてに答えなさい。

[ I ] 以下に示される図表 1 は、デマや偽・誤情報（以下、誤情報という）に関する意識調査の結果の一部です。図表 1 のみに基づいて、従来型のメディア（公共放送、民間放送、新聞、雑誌、書籍）に対する日本人の意識についてわかることを「信頼」という言葉を用いて 400 字程度で説明しなさい。(40 点)

[ II ] 図表 2 は特定の誤情報について見たり聞いたりした経験についての調査結果です。まず、図表 2 のみに基づいて、誤情報に関する（日本人のみならず）人々の一般的な傾向について 200 字程度で述べなさい。

つぎに、図表 1 と 2 の両方に基づき、従来型のメディアに対する日本人の意識について再検討できることを、段落を変えて 200 字程度で述べなさい。(60 点)

図表 1

国・地域	公共放送	民間放送	新聞	雑誌・書籍	テレビ	ラジオ	インターネット	スマートフォン	タブレット	音声検索	動画配信	Podcast	SNS	その他
日本	69	88	45	42	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140
アメリカ	263	199	153	112	236	236	236	236	236	236	236	236	236	236
中国	173	119	182	70	184	184	184	184	184	184	184	184	184	184
インド	208	163	180	92	208	208	208	208	208	208	208	208	208	208
韓国	173	102	121	27	235	235	235	235	235	235	235	235	235	235
オーストラリア	212	202	192	84	215	215	215	215	215	215	215	215	215	215

〔令和 5 年度国内外における偽・誤情報に関する意識調査 結果紹介〕 (みずほリサーチ&テクノロジーズ調べ)

偽情報・誤情報に接することの多い情報源  
直近の1ヶ月の間で、あなたが偽情報・誤情報※だと思っ情報を見かけた回答した方に伺います。直近の1ヶ月の間で、あなたが偽情報・誤情報だと思っ情報は、どのメディア・サービスなどで多く見かけましたか。おてはまるものすべてをお選びください。 ※ここでは、虚偽、または、誤解を招くと考えられる情報・ニュースを指します。

出題者注：図表内の数値は%、( )内は調査対象者数。

出所：総務省、「令和 5 年度国内外における偽・誤情報に関する意識調査 結果紹介」、2024 年 5 月 9 日。https://www.soumu.go.jp/main\_content/000945550.pdf 2025 年 7 月 22 日閲覧。

なお、総務省あるいは調査企業（みずほリサーチ&テクノロジーズ）による結果の要約などは出題者が省略しており、点線で囲われている数値はこの要約に用いられたものです。



だけに、暗算では気のつかなかった、多くの問題に注意をはらうようになる。「発見の手帳」をたゆまずつけ続けたことは、観察を正確にし、思考を精密にするうえに、非常によい訓練法であったと、わたしは思っている。

数式をとりあつかうのに、暗算も筆算もそれぞれ特色があるように、思想を開発するにも、そらでやるのと字を書いてゆくのとは、おのずから特徴が違っている。それぞれの人の性質やくせにもよるけれど、この筋道の透察や、論理の組み立てについては、すくなくともわたしは、文章に書かないで、宙で考えるほうがまくゆくことが多い。しかし、材料の蓄積はそうはゆかない。考えの素材となる事実や命題を、結局は記憶のなかから呼び起こすということになるのだが、その記憶の能力が、わたしの場合、まったくあてにならないのである。そこで、発見のあるたびに、せっせと「発見の手帳」に書きとめて、蓄積をはかることにしたのである。

記憶があてにならないという事実も、「発見の手帳」を使っているうちに、浮かび上がってきた一つの「発見」であった。わたしは、自分自身の発見や着想をも、すぐに忘れてしまうのである。その証拠に、わたしの「発見の手帳」を読み返してみると、まったく同じ内容の「大発見」がしばしばあらわれてくる。まえに一べん「発見」したことを忘れてしまって、また同じことを「発見」してしまうのだ。

しかし、ともかくもそれが記録にとどめてあったことによって、無意味な二重発見をチェックすることもできるのである。もしこれが、なんにも書いてなかったら、わたしは毎日大発見をしたような気になっても、実際のわたしの知的活動の内容は、何年もまえと同じところで足踏みしているかもしれないのだ。書いておきさえすれば、まえの発見が、つぎの発見のためのふみ石になって、しだいに巨大な構築物にまで積み上げることも可能なはずである。やや逆説的ないいかたになるが、なんべんも同じことを「発見」してしまうという、「発見の手帳」における失敗の経験が、かえって逆に、「発見の手帳」の有効性を教えてくれているのである。思想の構築のためには、「発見の手帳」は、やはりたいへん有効な素材蓄積法であろうと、わたしは考えている。

出典：梅棹忠夫『知的生産の技術』（岩波新書、1969年）24-28頁〔一部改変〕

〔Ⅱ〕2025年6月6日、東京電力(以下「東電」という。)福島第一原発事故で生じた損害の賠償責任を東電の旧経営陣が負うべきか否かが争われた裁判において、東京高等裁判所は、巨額の賠償を命じた第一審判決を取り消し、旧経営陣の法的責任を否定する判決を言い渡した。この裁判に関連する下記の3つの資料を読んで、次の問いに答えなさい。

問1 福島第一原発事故で生じた損害の賠償責任を東電の旧経営陣が負うべきとする立場の論拠と、負うべきでないとする立場の論拠について、それぞれ200字以内で、各資料から読み取って述べなさい。

問2 福島第一原発事故で生じた損害の賠償責任を東電の旧経営陣が負うべきか否かについて、問1の内容をふまえて、350字以上400字以内であなたの考えを述べなさい。

資料① 読売新聞「「誰も責任負わないのはおかしい」…東電株主ら逆転敗訴で怒り」(2025年6月6日)

「原告らの請求をいずれも棄却する」。6日午前11時、東京高裁の101号法廷。木納敏和裁判長が主文を読み上げると、支援者らで埋まった法廷にどよめきが広がった。

「旧経営陣の対応を不合理と断ずることはできない」「津波に切迫感を抱かなかつたのもやむを得ない」。裁判長が淡々と理由を述べると「おかしい」と怒号が飛んだ。

判決後、東京・霞が関の高裁前で「不当判決」と書かれた紙を掲げた原告代表の木村結さん(72)は「なぜ誰ひとり責任がなかったとの判決が書けるのか。許せない」と語った。原告側は最高裁に上告する方針だ。

事故の被災者らは今回の訴訟を含め、国や東電の責任を追及。多数の裁判で「巨大津波を予測できたか」「事故を防ぐ対策を取ることができたか」との点が争われてきた。

事故で避難を余儀なくされた住民が国に賠償を求めた集団訴訟では、最高裁が2022年6月、「津波が想定より大きく、対策をしても事故は防げなかった」と国の責任を否定。被災者らの告訴・告発を受け、強制起訴された旧経営陣の刑事裁判でも、最高裁が今年3月、「津波を現実的な可能性として予測できなかった」と結論付けた。

旧経営陣に13兆円超もの賠償を命じた22年の東京地裁判決に対し、この日の高裁判決は賠償責任の認定に高いハードルを課した。事故を防ぐには原発の運転停止が想定されることから、「多くの利害関係者に正当性を示せる合理的な根拠が必要だった」とした。

福島県沖で巨大地震が30年以内に発生する可能性を示した国の機関による「長期評価」について、地裁は「信頼性がある」としたが、高裁は見方を一変させた。旧経営陣の責任を認めるのに「消極方向に働かせる事情」が多数あると指摘し、「見解を否定する論文が存在する」「国や自治体でも採用されていない」と

次々にマイナス面を挙げた。

そして、「被害が甚大との理由で責任を拡大して負わせることはできない」と旧経営陣の賠償責任を否定し、「事故の損害に対する責任は東電が集中して負うべきものと解するほかはない」と述べた。

判決後の記者会見で、株主側の弁護団長を務める河合弘之弁護士は「次の原発事故を招きかねない不当な判決だ」と批判した。

一方、旧経営陣の代理人弁護士は「コメントは差し控える」とし、東電は「福島県民の皆様をはじめ、広く社会にご迷惑、ご心配をかけ、心からおわびする。個別の訴訟については回答を控える」とのコメントを出した。

#### ◆安全対策見直す機会に

山田泰弘・立命館大教授(会社法)の話「高裁は旧経営陣の法的責任は認めなかったが、今後は同様の状況でも賠償責任を負うことを示唆した。原発事業者は利益より安全を優先すべきだとのメッセージが込められており、経営陣は慣例にとらわれず、安全対策を常に改善し続けることが求められる。判決は安全対策にコストがかかる原発事業について電気を使う市民も含めた議論を促しており、そのあり方を社会全体で見直す機会にすべきだ」

#### ◆最高裁判断と矛盾しない

元東京高裁判事等原発訴訟に詳しい升田純弁護士の話「旧経営陣の過失が認められるのは、『長期評価』に関する検討や判断の過程において、著しく合理性を欠いた場合とするのが原則だ。地裁は被害の甚大さを重視するあまり、合理的かどうかの認定が厳密ではなかった。高裁は、長期評価の内容や旧経営陣の判断を詳細に分析し、著しく不合理とまでは言えないと結論付けた。これまでの最高裁判断とも矛盾せず、妥当な判決だ」

(読売新聞 2025 年 6 月 6 日 朝刊、一部改変)  
「無断転載・複写不可」

#### 資料② 朝日新聞「(社説)東電株主訴訟 甘い判断 問わぬ理不尽」(2025 年 6 月 7 日)

司法は取り返しのつかない被害を正面から受け止めているのか。疑問を禁じ得ない。

東京電力福島第一原発の事故をめぐる株主代表訴訟の控訴審で、東京高裁は、会社が被った損害を賠償するよう旧経営陣に求めた東電株主の請求を棄却した。一審判決は約 13 兆円の支払いを命じたが、一転、原告の敗訴となった。

原発を動かす電力会社は重大事故を防ぐ義務がある。そして、その役員は経営判断にあたって、会社が莫大(ばくだい)な賠償責任を負わないように注意することも求められている。

ところが高裁は、巨大地震が起きるかもしれない原発を止めるべきだ、という切迫性までなければ、対策をとらなくても責任は認められない、という立場をとったといえる。

甘い経営判断を不問に付す範囲を広げる論理が、安全面での規律の緩みにつながり、再び重大事故を招

きかねないのではないかと危惧する。

法的責任を否定する一方で判決は、ひとたび事故が起これば甚大な被害を広くもたらし、国の崩壊にもつながりかねないから、原発を運転する会社には「最新の知見に基づき事故を防止する社会的、公益的義務」を求め、事故防止を指示できた旧経営陣は大きな社会的責任を負うべきだとも指摘している。両者が同居する論理には違和感がある。

判決は「事故を経験した現時点においては、取締役に一層重い責任を課す方向で検討されるべきもの」と付言する。しかし事故前後を問わず、万が一にも重大事故を起こしてはならない高度の安全性が求められていたのは変わらないのではないかと。

14 年前の事故は、取り返しのつかない被害を日本社会にもたらした。多くの人が平穏な暮らしを奪われ、廃炉などの後始末も続く。処理費用は 10 兆円単位の巨額に上り、実質的な国民負担はかさむ。

惨事を、国会の事故調査委員会は「人災」と認定した。だが今回の結論が維持されれば、他の関連訴訟も含め個人の法的責任や東電側の過失は問われないことになる。不可抗力だったとしてすまされるのなら納得しづらい。

事故の記憶が遠のくなか、政府は原発の「最大限活用」にかじを切った。東電はもちろん、原発を持つ他の会社や関係省庁も改めて緊張感を胸に刻まねばならない。

振り返れば、あの大事故は電力業界や関係省庁、政治家、自治体などの慢心や無責任が幾層にも重なった結果だった。なぜ防げなかったのか。責任はどこにあり、教訓をどう生かすか。社会全体で考え続ける必要がある。

(朝日新聞 2025 年 6 月 7 日 朝刊、一部改変)  
「承認番号 (25-2824) 朝日新聞社に無断で転載することを禁じる」

#### 資料③ 産経新聞「<主張>東電の株主訴訟 原発事故の防止に全力を」(2025 年 6 月 10 日)

東京電力福島第 1 原子力発電所の事故を巡り、旧経営陣に東電への賠償を求めた株主代表訴訟の控訴審判決で、東京高裁が株主側の請求を棄却した。

1 審では旧経営陣 4 人に 13 兆円超の賠償を命じていたが、一転して旧経営陣の法的責任を認めなかった。妥当な判決である。

大きな争点は、平成 14 年に政府の地震調査研究推進本部が公表した「長期評価」への対応だった。東電の子会社はこれに基づき原発に最大 15.7 メートルの津波が到達すると試算していた。原告の株主らは、旧経営陣は巨大津波が襲う可能性を認識していたにもかかわらず、安全対策を怠ったと主張した。

これに対し、東京高裁は、事故防止には原発の運転を停止し、津波対策工事を指示すべきだが、長期評価はそのような指示を出す根拠としては不十分で、旧経営陣が津波の危険性に切迫感を抱けなかったのはやむを得なかったとした。

電力事業者は法律上の電力供給義務を負っている。長期評価に明確な根拠に基づく十分な信頼性が無い限り、運転を止めるのは困難とみるべきで、旧経営陣に法的責任を認めるのは難しだろう。

今回の判決は、最高裁決定と整合性をとったともいえる。業務上過失致死傷罪で旧経営陣が強制起訴された刑事裁判で、最高裁は今年3月、「長期評価の見解は、津波の襲来という現実的な可能性を認識させるような性質を備えた情報だったとはいえない」などとして、旧経営陣の無罪が確定している。

そもそも1審で命じた13兆円超の賠償は、個人の支払い能力を超越した天文学的な額であり、現実離れしている。

一方で、原発を保有する電力会社は事故を防ぐ責任の重さを自覚し、安全対策に全力を挙げなければならぬ。福島第1原発事故は複数の原子炉の同時破損という世界に類のない放射能災害だった。ピーク時には約16万人が避難するなど多くの住民が甚大な被害に遭った。

資源に乏しいわが国にとって、原発はエネルギー安全保障上も欠くことのできない基幹電源である。原発の有効活用には安全対策の徹底でリスクの芽を摘んでいく必要がある。電力会社の経営陣は改めてそのことを肝に銘じてもらいたい。

(産経新聞 2025年6月10日朝刊、一部改変)  
「無断転載・複写不可」

[I] 次の文章を300字以上400字以内にまとめなさい。

わたしたちが「手帳」に書いたのは、「発見」である。まいにちの経験のなかで、なにかの意味で、これはおもしろいと思った現象を記述するのである。あるいは、自分の着想を記録するのである。それも、心おぼえのために、みじかい単語やフレーズを書いておくのではなく、ちゃんとした文章で書くのである。ある意味では、それはそのまま小さな論文——ないしは論文の草稿——となりうるような性質のものであった。少なくともそういう体裁を整えている。そのような豆論文を、まいにち、いろいろな現象をとらえて、つぎつぎと書いてゆくのである。たまってみると、それは、わたしの日常生活における知的活動の記録というようなものになっていった。

友人たちの場合も、人によって多少の違いはあるだろうが、ほぼ、似たようなものであったかと思う。わたしの場合、いまに残っている何冊かの手帳をひらいてみると、まったくいろんなことが書きつけてある。高校生のことから、学校の勉強のことや、読書の感想なんかがたくさんあってよさそうなものだが、そういう事項がほとんどない。そのかわりに、たとえば、犬にかまれたときに、傷あとの歯形が、どういう形にならんでついたかとか、「すもうとり人形」の構造だとか、その日のたべものの種類と味の記述だとか、ニンニクの学名についての考察だとか、子どもの湿布の仕方だとか、そのほかまったく、いわばがらくた的な経験ないし知識が、いっぱい書いてある。いまとなつては、わたし自身でも、いったいどういうつもりでこんなことを書きつけておいたのか、判断に苦しむようなものが多い。しかし、それはそれで、そのときには、新たな事実の「発見」として、なにほどこかの感動をとまっていたことに違いないのである。わたしは、この手帳に、自分で、「発見の手帳」という名をつけていた。

紙や鉛筆をもたずに、そらでものを考えるのは、楽しいことである。とりとめのない空想にふけれるから、という意味ではない。こつこつと、文字で論理を組み立ててゆくよりも、そらで考えたほうが、直感的な透察がよくきいて、思想の脈絡がはるかにうまくつくからである。

学生時代に、わたしは数学が不得手で、ずいぶん悩まされたが、紙と鉛筆をはなれて、寝ながらそらで数式を組み立ててあつかうことを覚えてからは、うそのように数学がよくわかるようになった。数学を、計算技術としてでなく、思想としてとらえるようになったからだろう。

大宅壮一氏は、中学時代に、学校まで歩いてゆく途中、頭のなかに原稿用紙のマス目をつくって、それに字をうめていったという。頭のなかで、そらで文章を組み立てるのである。一種の、思想的暗算である。

ところが「発見の手帳」の原理は、そういうのとは、まったく反対である。なにごとくも、徹底的に文章にして、書いてしまうのである。小さな発見、かすかなひらめきをも、逃がさないで、きちんと文字にしてしまおうというやりかたである。

このやりかたは、すこし努力を必要とするので、そらで数や文章をあつかうような楽しさはない。しかし、それ

だけに、暗算では気のつかなかった、多くの問題に注意をはらうようになる。「発見の手帳」をたゆまずつけ続けたことは、観察を正確にし、思考を精密にするうえに、非常によい訓練法であったと、わたしは思っている。

数式をとりあつかうのに、暗算も筆算もそれぞれ特色があるように、思想を開発するにも、そらでやるのと字を書いてゆくのとでは、おのずから特徴が違っている。それぞれの人の性質やくせにもよるけれど、この筋道の透察や、論理の組み立てについては、すくなくともわたしは、文章に書かないで、宙で考えるほうがうまくゆくことが多い。しかし、材料の蓄積はそうはゆかない。考えの素材となる事実や命題を、結局は記憶のなかから呼び起こすということになるのだが、その記憶の能力が、わたしの場合、まったくあてにならないのである。そこで、発見のあるたびに、せせと「発見の手帳」に書きとめて、蓄積をはかることにしたのである。

記憶があてにならないという事実も、「発見の手帳」を使っているうちに、浮かび上がってきた一つの「発見」であった。わたしは、自分自身の発見や着想をも、すぐに忘れてしまうのである。その証拠に、わたしの「発見の手帳」を読み返してみると、まったく同じ内容の「大発見」がしばしばあらわれてくる。まえに一ぺん「発見」したことを忘れてしまって、また同じことを「発見」してしまうのだ。

しかし、ともかくもそれが記録にとどめてあったことによって、無意味な二重発見をチェックすることもできるのである。もしこれが、なんにも書いてなかったら、わたしは毎日大発見をしたような気になっても、実際のわたしの知的活動の内容は、何年もまえと同じところで足踏みしているかもしれないだ。書いておきさえすれば、まえの発見が、つぎの発見のためのふみ石になって、しだいに巨大な構築物にまで積み上げることも可能なはずである。やや逆説的ないいかたになるが、なんべんも同じことを「発見」してしまうという、「発見の手帳」における失敗の経験が、かえって逆に、「発見の手帳」の有効性を教えてくれているのである。思想の構築のためには、「発見の手帳」は、やはりたいへん有効な素材蓄積法であろうと、わたしは考えている。

出典：梅棹忠夫『知的生産の技術』（岩波新書、1969年）24-28頁〔一部改変〕

〔Ⅱ〕 18歳未満の未成年のSNS利用を規制することの是非に関連した資料を読んで、次の問いに答えなさい。

問1 日本において未成年のSNS利用を規制するべきだという意見の論拠を200字以内で、また、規制するべきではないとする意見の論拠を200字以内で、それぞれ資料から読み取って述べなさい。

問2 海外では、未成年のSNS利用を禁止することを、プラットフォーム（【資料】の末尾にある「キーワード」を参照のこと）を運営する事業者（企業）に対して義務づける制度を導入する動きがある。日本において、こうした制度を導入すべきだろうか。問1の内容をふまえて、必要に応じてその理由や条件を明らかにした上で、350字以上400字以内で述べなさい。

【資料】「The論点 子供のSNS 制限必要？」

（『読売新聞』2025年5月16日東京朝刊、一部改変。）「無断転載・複写不可」

広く浸透したSNSは18歳未満の子どもたちにも身近な存在だ。連絡手段としてだけでなく、人とのつながりや表現の場として評価されている。一方で、犯罪に巻き込まれたり、生活習慣が乱れたりなど悪影響も深刻だ。子どもの利用を法律で規制するべきなのだろうか。



埼玉県本庄市の会社経営早川純さん（39）の長男（8）は小学3年で、毎週末オンラインゲームを楽しんでいる。このゲームにはSNSのように他人と直接やり取りできる機能はないが、早川さんは「将来、SNSを使い始めて見知らぬ人とつながると不安だ」と話す。

警察庁によると、SNSを利用したことから犯罪被害にあった18歳未満の子どもは1486人（2024年）に上る。このうちオンラインゲームがきっかけは23年より9人多い98人で、小学生が22人いた。オンラインゲームはメッセージの交換機能があれば、匿名の相手とも簡単にやり取りができる。ゲーム内で一緒にプレーする連帯感や腕前による序列関係につけこまれ、性犯罪に巻き込まれる例が多いという。

最近は子どもが加害者になる事件も目立つ。山口県光市では昨年10月、SNSの「闇バイト」に応募した中学生が強盗予備容疑で逮捕された。今年2月にはオンラインゲームで知り合った中高生が「楽天モバイル」のシステムに不正接続していた事件が明らかになった。犯罪に巻き込まれないための対策として、有害サイトやアプリへの接続を遮断するフィルタリング機能がある。これは青少年インターネット環境整備法で、携帯各社にサービス提供が義務付けられている。ただ、実際に活用するかは利用者の判断で、こども家庭庁の24年調査では、10～17歳の利用率は45.8%にとどまっている。

SNS運営会社の対応も実効性が高いとは言えない。動画・写真の共有アプリTikTok（ティックトック）やイ

Instagramは12歳以下のアカウント作成を禁止している。年齢詐称がわかれば利用が停止されるが、厳密な年齢確認はなく、生年月日を入力する自己申告制だ。事態を深刻に見たオーストラリアは、子どものSNS利用禁止に踏み切った。SNS運営会社に16歳未満はアカウントを作成できないような措置を義務付けたもので、昨年12月に法律が成立した。ティックトックでダイエット動画にはまり、摂食障害の末に自殺した中学生の事例などが引き金になった。違反した場合は最高で4950万豪ドル(約50億円)の罰金が科される。

法規制の動きは他の国でも広がっている。慶応大の山本龍彦教授(憲法学)は「判断能力が成熟していない子どもをSNS上の過度な刺激から守るため、ある程度の規制は日本でも必要」と指摘している。

名古屋市内の公立高校に通う女子生徒(16)は、1日3時間ほどSNSを利用するという。X(旧ツイッター)やInstagramで友人と漫画の感想を共有したり、大学受験の情報を集めたりと、「考えが近い人とつながり、生活が豊かになった」という。

NTTドコモモバイル社会研究所の2024年調査によると、中学生のSNS利用率(SNSを一つ以上利用している割合)は93%に上る。小学4～6年で65%、小学1～3年でも27%だ。また、10代のSNSの1日の平均利用時間(総務省調べ)は平日が56分、動画共有サービスの利用は同1時間52分だった。SNSが子どもの生活の一部になっている実態が浮かび上がってくる。

こうした状況から、オーストラリアの国連児童基金(ユニセフ)は子どものSNS利用禁止に踏み切った同国政府に対し、「子どもの表現の自由や情報を得る権利を妨げる」などと懸念を表明している。

SNS上での自己表現は、なにも意見表明や芸術活動の発表だけではない。誰かに聞いてもらいたくて、抱えた悩みや不安を打ち明けることもある。X(旧ツイッター)では「死にたい」と打ち込むと、「あなたの思いをそのまま聞かせて」などとNPO法人による心の相談窓口が表示される機能がある。

東京都のNPO法人「自殺対策支援センター ライフリンク」は、SNS上に相談窓口「生きづらびっと」を設けている。毎月8000～1万件ほどのアクセスがあり、相談者は月約3500～4000人に上るそうだ。このうち19歳以下からの相談は3割強に上るといい、「SNSの窓口を設けたことで、子どもや若者からの相談が圧倒的に増えた」と話す。SNSで救えた命がある。

SNSの特性である「匿名性」が、子どもたちの警戒心を解き、本音で語ることを許しているのだろう。なかには学校よりSNSに居場所を見いだす若者も少なくないようだ。こども家庭庁の22年度の調査によると、学校を「居心地の良い場所」と答えた人の割合は10代後半で65.3%だったが、SNSなどインターネット空間は68.7%に上った。

自民党で「こどもの自殺対策支援プロジェクトチーム(PT)」の事務局長を務める大空幸星衆院議員(26)は「SNSしか居場所がない子どもも多く、その選択肢を奪うべきではない。SOSを発信できる場所を増やすことは大事だ」と法規制への反対を訴えている。

日本でも子どものSNS利用に関する法規制の是非について、議論が始まっている。昨年11月に発足したこども家庭庁のワーキンググループでは、有識者から「(法規制が進む)海外から学ぶことは重要だ」「日本の今の法制度で対応できている部分は少ない」など規制に前向きな意見が出る一方、憲法の「表現の自由」の観点などから全面的な禁止に反対する声も上がった。引き続き精力的に意見交換して、夏頃をメドに方向性を示す予定だ。

一方で、日本では昨年、兵庫県知事選など各地の選挙でSNS上に真偽不明の情報が拡散し、選挙の公平性・公正性が疑問視される事態が相次いで発生した。これについても、何らかの規制が必要だとして政府や各党が議論を重ねている。

幼い頃からSNSに慣れ、居場所を求めてきた子どもたちが18歳で有権者になり、選挙の際にSNS上で大量の偽・誤情報に触れたとき、どのような反応をして、どのような投票行動を取るのだろうか。

千葉大の藤川大祐教授(教育方法学)は「SNSを巡る状況は日々変わっている。学校や家庭での教育内容を絶えずアップデートしていくことが大切だ」と指摘する。

子どものSNS利用に関する法規制の議論がいつ頃、どのように決着するか見通せないが、有用性の裏に潜む様々な危険性を子どもたちに啓発していくことは待ったなしである。

〈キーワード〉

#### ◆プラットフォーム

インターネット上でサービスの提供者と利用者をつなぐ場所や仕組みのことで、検索のグーグルやヤフー、通販のアマゾンや楽天、SNSのX(旧ツイッター)やフェイスブックなどが有名だ。多様なサービスや人が一か所に集まっているため便利である一方、一部の巨大プラットフォーム事業者が出店者や利用者に一方的に不利な条件を課したり、データを囲い込んだりして、市場の競争をゆがめているとして、日本や欧米の当局が規制を強化している。

SNS上の誹謗(ひぼう)中傷も大きな社会問題となっている。日本では「情報流通プラットフォーム対処法」が今年4月に施行され、SNS運営大手に対し、投稿の削除を申請する窓口の設置や削除基準の公表などが義務付けられた。

講義の内容に即して、次の問題に答えなさい。

- 〔Ⅰ〕講義の内容にふさわしいタイトルをつけてください。(10点)
- 〔Ⅱ〕講義の内容全体について、項目をたてて要約してください。(80点)
- 〔Ⅲ〕講義で挙げた国際社会の課題を一つとりあげ、あなたの考えを述べてください。(10点)

[Ⅰ] 以下の1~10の問いについて、内容が正しいものには○、誤っているものには×を、各設問の解答欄に記入しなさい。

クロード・モネについて

1. イタリア出身の画家であり、日本の石庭を題材とした絵画を多く描いたことで有名である。
2. ジヴェルニーの「花の庭」は、色とりどりのスイレンで埋め尽くされていた。
3. 多数の浮世絵のコレクションを保有していた。
4. モネのファンのなかには、松方幸次郎がいた。

日本国内で再現された「モネの庭」について

5. 日本国内で「モネの庭」が再現されているのは、東京都のみである。
6. 庭園内には、必ず日本の橋が設置されている。
7. 日本国内で再現された「モネの庭」のなかには、ジヴェルニーの「モネの庭」から株分けされたスイレンを含むものもある。

庭園について

8. 日本最古の造園書は『作庭記』とされている。
9. 『作庭記』には、「モネの庭」に関する記載がある。
10. 「縮景」とは、他の景色をありのままに庭園の一部として取り入れる造園技巧を指す。

[Ⅱ] 本日の講義の中で最も重要と思う点を一つ挙げ、その理由を説明し、自分の考えを述べなさい。

(400字程度)

[I] 次の文を読み、問いに答えよ。

2種類以上の物質が混ざったものを混合物という。これに対し、1種類の物質からできているものを純物質という。純物質のうち、1種類の元素からなるものを(1)という。また、2種類以上の元素からなる純物質を(2)という。

元素ごとに異なる性質を利用することで、ある物質に含まれる元素の種類を特定することができる。リチウムやバリウムなどの元素を含んだ溶液を白金線につけ、ガスバーナーの外炎に入れると、それぞれの元素に特有の色を示す。

食塩水を白金線の先につけ、ガスバーナーの外炎に入れたところ、その炎は(3)になった。この色は(4)に特有な色であるので、食塩水には(4)が含まれていることがわかる。また、食塩水に硝酸銀水溶液を加えたところ、白色沈殿が生じた。このことから、食塩水には(5)が含まれていることがわかる。

問 1. 文中の空欄(1)から(5)に適切な語句を入れよ。ただし、空欄(3)には色の名称が入る。

問 2. 次のうち、「純物質」に分類されるものはどれか。以下のa～dから1つ選び、記号で答えよ。

- a. 空気 b. 食塩水 c. 酸素 d. コーヒー

問 3. 次のうち、「混合物」に分類されるものはどれか。以下のa～dから1つ選び、記号で答えよ。

- a. 水 b. 窒素 c. 炭素 d. 空気

問 4. 下線部アについて、この現象を何とよぶか。

問 5. 下線部アについて、(1)リチウムと(2)バリウムはそれぞれ何色を呈した炎を示すか。以下のa～eから1つずつ選び、記号で答えよ。

- a. 赤色 b. 赤紫色 c. 橙赤色 d. 黄緑色 e. 青緑色

問 6. 下線部イについて、この反応で生じた白色沈殿の物質名を答えよ。

[II] 次の表は、元素の周期表の一部である。この表に関する以下の問いに答えよ。

		族							
		1	2	13	14	15	16	17	18
周期	1	H							He
	2	Li	Be	B	C	N	O	F	Ne
	3	Na	Mg	Al	Si	P	S	Cl	Ar
	4	(1)	(2)	Ga	Ge	As	Se	Br	Kr

問 1. 表の(1)および(2)に入る元素をそれぞれ元素記号で記せ。

問 2. Hを除く1族の元素は何と呼ばれるか。

問 3. 17族の元素は何と呼ばれるか。

問 4. 15族の元素の価電子の数を答えよ。

問 5. 第2周期の元素の中でイオン化エネルギーが最も大きい元素は何か。

問 6. 第3周期の元素の中で電気陰性度が最も大きい元素は何か。

問 7. Liが安定な単原子イオンになるとき、同じ電子配置となる原子を元素記号で答えよ。

[ III ] 酸と塩基について次の文を読み、問いに答えよ

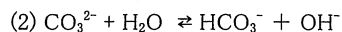
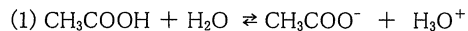
(1) は「水溶液中で水素イオンを生じる物質が酸であり、水酸化物イオンを生じる物質が塩基である」という考えを初めて提唱した。

また、(2) とローリーは酸・塩基を水素イオンの授受という広い視点で定義した。

塩化水素と酢酸は共に一価の酸であるが、同じモル濃度の水溶液に亜鉛を加えると、塩酸の方が酢酸水溶液より激しく気体を発生する。塩化水素のように、水溶液中でほとんど電離している酸を(3) といい、酢酸のようにごく一部しか電離していない酸を(4) という。

問 1. 文中の空欄(1)および(2)に適切な人名を入れよ。また空欄(3)および(4)に適切な語句を入れよ。

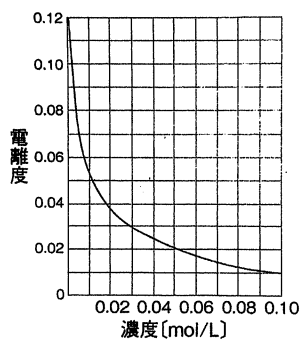
問 2. 下線部アの定義に従うと、次式の右向き反応の水  $H_2O$  は酸・塩基のいずれの働きをしているか。



問 3. 図に、酢酸水溶液の濃度と電離度の関係を示す。電離度は、図から読み取り、小数2桁までの値をそのまま用いて、以下の問いに答えよ。

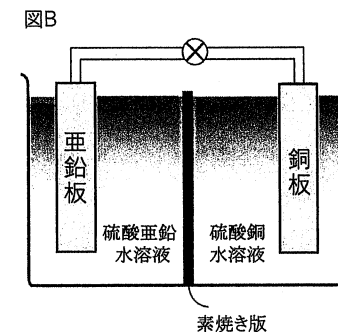
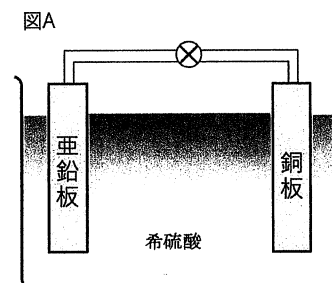
(1) 0.10mol/L の酢酸水溶液の水素イオン濃度 $[H^+]$ を求めよ。

(2) 0.05mol/L の酢酸水溶液の水素イオン濃度 $[H^+]$ は、水酸化物イオン濃度 $[OH^-]$ の何倍か。



[ IV ] 次の文を読み、問いに答えよ。

図 A の電池は亜鉛板と銅板を希硫酸に浸したものである。一方、図 B の電池は亜鉛版をうすい硫酸亜鉛水溶液に浸し、銅板を濃い硫酸銅水溶液に浸し、2つの水溶液の間は素焼き板で仕切った。



問 1. (1) 図 A の電池の名称を記せ。

(2) 図 B の電池の名称を記せ。

問 2. (1) 図 A の電池の正極は亜鉛板と銅板のどちらか。

(2) 図 B の電池の正極は亜鉛板と銅板のどちらか。

問 3. 図 A の電池の正極では気体が発生する。この気体の名称を記せ。

問 4. (1) 図 B の電池の正極で起こる反応を電子  $e^-$  を用いた反応式で記せ。

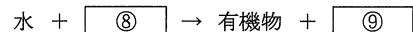
(2) 図 B の電池の負極で起こる反応を電子  $e^-$  を用いた反応式で記せ。

(3) 上記2つの式を1つのイオン反応式で表せ。

生命科学部 生物基礎 (40分) 1次選考

[I] 生物の特徴に関する次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

生物の細胞には、核をもたない ①細胞と、核をもつ ②細胞がある。いずれの細胞も、細胞質をもち、その最外層は ③になっている。また DNA を内部に含む ④をもち、細胞質は水やタンパク質を含む ⑤と呼ばれる液状の成分で満たされている。①細胞は、ふつう、②細胞に比べて細胞の大きさが小さく、内部構造は単純である。一方で、②細胞の内部には、①細胞にはない核や ⑥、⑦など、特定のはたらきをもつ細胞小器官がみられる。ただし、⑥は植物細胞や藻類の細胞にみられ、動物細胞にはみられない。植物は、⑥で光合成を行い、次のように水と ⑧から有機物を合成し、⑨が発生する。



光合成では、光エネルギーを利用して、ADPと ⑩が結合して ⑪が合成され、⑪に含まれるエネルギーを利用して有機物が合成される。

- (1) 文中の ① ～ ⑪ に、もっとも適切な語句を入れなさい。
- (2) 脊椎動物は、②細胞からなる ②生物である。脊椎動物の 5 つのグループの特徴を以下の表にまとめた。表を参考にして、脊椎動物の系統樹を模式的に示しなさい。

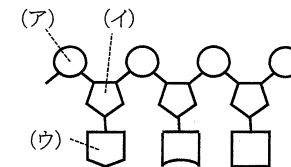
表

グループ 特徴	魚類	両生類	は虫類	鳥類	哺乳類
脊椎	脊椎をもつ	脊椎をもつ	脊椎をもつ	脊椎をもつ	脊椎をもつ
運動器	ひれ	ひれ(幼生) 四肢(成体)	四肢	四肢	四肢
呼吸器	えら	えら(幼生) 肺(成体)	肺	肺	肺
子の生まれ方	水中・卵生	水中・卵生	陸上・卵生	陸上・卵生	胎生

[II] 遺伝に関する次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

生物のもつ形や性質などを形質といい、親の形質が子に伝わることを遺伝という。遺伝では生物の形質を決める ①が親から子に伝わるため、親と子は似た形質を持つ。①の本体は DNA である。DNA は基本単位である ②が多数結合して鎖状につながった 2 本の ②鎖からなる。②を構成する糖として ③を持つ。また、塩基としてアデニン(A)、チミン(T)、シトシン(C)およびグアニン(G)の 4 種類を持つ。2 本の ②鎖は内側に突き出した塩基同士が ④結合し、全体がねじれて ⑤構造をしている。塩基どうしの結合は A と ⑥、G と ⑦がそれぞれ特異的に結合し、⑧をつくる。したがって、DNA の一方の ②鎖の塩基の並び方が決まると、もう一方の ②鎖の塩基の並び方も自動的に決まる。このような塩基の互いに補い合う関係を塩基の ⑨性という。生物が個体を形成し、生命活動を営むのに必要な遺伝情報は、DNA を構成する 4 種類の塩基の並び順(⑩)として暗号化されて存在する。もとの DNA と同じ ⑩をもつ DNA がつくられることを複製(DNA 複製)という。DNA が複製される際、もとの DNA の ②鎖が分かれて 1 本ずつの鎖となりそれぞれが鋳型となって ⑨的な ⑩を持つ新しい鎖がつくられる。このような複製の様式を ⑪という。

- (1) 文中の ① ～ ⑪ に、もっとも適切な語句を入れなさい。
- (2) 下線部について、次の問いに答えなさい。
- (i) DNA の正式名称を答えなさい。
- (ii) 図は DNA の構造の一部を模式的に示したものである。図中の(ア)～(ウ)の物質の名称を答えなさい。



図

〔Ⅲ〕 体内環境の調節に関する次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

細胞は、生命活動のエネルギー源として糖などを利用しており、多くの場合、グルコースを利用する。動物の細胞が必要とするグルコースは血液から供給されており、血液中に含まれるグルコースは血糖と呼ばれ、血糖濃度を一定の範囲に保つことは生命の維持にとって重要である。高血糖時の調節は、から分泌されるインスリンによって行われ、インスリンによって血糖濃度は低下する。インスリンは、細胞内へのグルコースの取り込みや細胞中のグルコースの分解を促進する。また、肝臓や筋肉において、グルコースからへの合成を促進する。一方、血糖濃度が低下した場合には、から分泌されるグルカゴンによって、血糖濃度が上昇する。低血糖時の調節には、グルカゴンのほか、から分泌されるアドレナリンも関わる。また、生命に関わるような極度の低血糖が続くと、から分泌されるによって、から糖質コルチコイドが分泌され、タンパク質を糖に変える働きを促進する。血糖濃度の変化は、すい臓で感知されるほか、間脳のによっても感知される。は、自律神経や内分泌系の中枢でもある。

(1) 文中の～に、もっとも適切な語句を入れなさい。

(2) 文中の～に入る、もっとも適切な内分泌腺または内分泌細胞を次の a～h のうちから、それぞれ 1 つずつ選び、記号で答えなさい。

- a. 脳下垂体前葉
- b. 脳下垂体後葉
- c. 甲状腺
- d. 副甲状腺
- e. 副腎髄質
- f. 副腎皮質
- g. すい臓のランゲルハンス島 A 細胞
- h. すい臓のランゲルハンス島 B 細胞

(3) 血糖濃度調節において、交感神経によって分泌が調節されているホルモンを次の a～d のうちから 2 つ選び、記号で答えなさい。

- a. インスリン
- b. グルカゴン
- c. アドレナリン
- d. 糖質コルチコイド

(4) 下線部について、自律神経系の交感神経と副交感神経のはたらきは、きつ抗的である。次のア～オの器官のはたらきにおける交感神経の作用を、a または b から、それぞれ選び、記号で答えなさい。

- |            |       |       |
|------------|-------|-------|
| ア: 眼(ひとみ)  | a. 拡大 | b. 縮小 |
| イ: 心臓の拍動   | a. 促進 | b. 抑制 |
| ウ: 胃腸のぜん動  | a. 促進 | b. 抑制 |
| エ: ぼうこうの排尿 | a. 促進 | b. 抑制 |
| オ: 気管支     | a. 拡張 | b. 収縮 |

[IV] 免疫に関する次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

ヒトは、ある病原体に感染すると、その病原体に感染しにくくなる。これは、その病原体のもつ抗原により刺激を受けたリンパ球の一部が ① 細胞として体内に残り、その後、同じ病原体の感染に対してすみやかに強く反応するしくみをもつためである。これを ② という。

病原体などの異物が初めて体内に侵入すると免疫系はゆっくり反応し、1～2週間かけて抗体をつくり始める。これを ③ 応答という。③ 応答での抗体の産生量は多くないが、刺激を受けた細胞の一部は ④ 細胞として体内に残る。

同じ異物が再び体内に侵入した場合、④ 細胞の ④ 細胞は、以前に刺激を受けた抗原に出会うと直ちに増殖し、⑤ 細胞となり大量の抗体を産生する。また、⑥ 細胞の ④ 細胞も、以前に刺激を受けた抗原に出会うと強く反応する。これらの生体の反応を ⑦ 応答という。

この ② を医療に応用したものとして、ツベルクリン反応などがある。この反応は、ヒトや動物に結核菌に対する ④ 細胞があるかどうかを調べるものである。抗原として結核菌のタンパク質を皮下に注射すると、以前に結核菌に感染したことがある人では皮膚が赤く腫れる。これは抗原に反応する ⑥ 細胞が ④ 細胞として残り、再び抗原が侵入すると ③ 性免疫が急速にはたらくためである。

また、狂犬病やジフテリアなどの感染症やヘビ毒などの治療法として、ウマなどの動物に特定の抗原を注射して得た ⑨ を、緊急を要する患者に投与する治療法がある。これを ⑩ という。

(1) 文中の ① ～ ⑩ に、もっとも適切な語句を入れなさい。

(2) 下線部について、

(i) ツベルクリン反応で赤く腫れなかったときには、結核菌に感染する恐れがある。

そこで、人工的に結核菌に対する ④ 細胞を持たせるために、弱毒化した生きた結核菌(BCG)を接種する。このように、特定の病原体への免疫をつくらせるために接種する抗原のことを何というか答えなさい。

(ii) (i)で、特定の病原体への免疫をつくらせるために抗原を接種することを何というか答えなさい。

[V] 環境に関する次の問いに答えなさい。

ある地域の植生と、そこに生息する動物などを含めた生物のまとまりをバイオーム(生物群集)という。「日本のバイオームの特徴」について、100字程度で説明しなさい。ただし、後の語群【 】の中の語句をすべて使用すること。

【降水量 年平均気温 水平分布 垂直分布】

次の①～③の質問に、具体例を挙げ、全体で800字程度で答えなさい。

① 本学外国語学部英語学科のカリキュラムでは、英語学(言語学)、英語教育学、英文学・文化学、通訳・翻訳論などの学術的分野の講義科目が基幹科目として位置づけられています。あなたは、これらの中で特にどの分野を、どのような理由で、深く学びたいと考えていますか。

② あなたは、その分野の知識を深めることで、自分が持つどのような問いの答、もしくは、現代社会が直面するどのような問題の解決法を見つけたいと思いますか。

③ インターネットなどを利用することにより、誰でも簡単に様々な情報を得ることができる今の時代に、ある学術的分野を深く学ぶ意義は何だと思いますか。また、②の問いの答/問題の解決法を見つけるためにどのような学び方をすることが必要だと思いますか。

次の文章を読んで、以下の2点について800字程度でまとめてください：

1. まず初めに、筆者は「外国語の文章を読むことの意義」をどう捉えているか、本文に即して自分の言葉で簡潔に説明してください。
2. 次に、本文の内容を踏まえた上で、「今なぜ大学でドイツ語を学習するのか」について、自分の見解を述べてください。

(出所：加藤周一 (2000/2021<sup>25</sup>) . 『読書術』 . 岩波書店.)

必要は猪明の母という原則と、外国語の本はやさしければやさしいほどいいという原則は、矛盾するどころか、ほとんどつねに一致するのです。たとえば、核兵器の禁止が日本国民の悲願であるとして、核兵器反対のバートランド・ラッセルの議論は、ヴィクトリア朝の家庭悲劇の微に入り細を穿った小説よりも、日本国民の大部分にとっては、より必要な内容であるはずでしょう。そして、ラッセルの政治的な論文は、ヴィクトリア朝小説よりも語学的にははるかに容易です。また、たとえば、スエズ戦争のときにイギリスの世論を二分した『タイムズ』(ロンドン)と『ガーディアン』(マンチェスター)の社説は、いずれも性と殺人を売りものにした駄売り小説より、けっして語学的にむずかしいわけではありません。

しかし、娯楽、教養、人格の修養、趣味の発展のための読書はどうでしょうか。私ならば、第一に、そういう目的のための読書は日本の著者と日本の本ですませたいと思います。それでものたりないところは、外国の小説でおきなうとして、偉大な小説の大部分にはよい翻訳があるから、それを利用します。シェークスピア(一五六四―一六一六)は翻訳で見てもおもしろい。それと同じように、一九世紀から今日にかけて、西洋の大小説家は、トルストイ(一八二八―一九一〇)も、ドストエフスキイも、バルザック(一七九九―一八五〇)も、スタンダールも、またプルーストや、トーマス・マン(一八七五―一九五五)やフォークナー(一八九七―一九六二)でさえも、翻訳で読んでおもしろいはずだと思います。

前にも言ったように、文学の専門家でなければ、そういうものをそれぞれの原語で読んだのしみとすることができると、外国語に熟する時間をもたないのがふつうでしょう。もちろん、外国で暮らしている人の場合には話が別です。しかし、そういうことはめったにありません。それならば、外国の二流の小説家を読むというたのしみを捨てても、いっこうにさしつかえがない。二流の小説家は、一流の小説家の場合よりも、翻訳がむずかしいのがふつうです。たとえば、私は英語でフォースター(イギリスの小説家、一八七九―一九七〇)を読むのが好きですが、もし、それを日本語で読んだら、好きであるかどうか、たしかではありません。これは、単に語学的な問題ではなくて、もの考え方に、歴史的・社会的な背景があり、万華が風俗習慣と密接にからんでいるということなのです。多少ともイギリスの知的社会を知らない人たちが、フランス人にしても、ロシア人にしても、また日本人にしても、フォースターをたのしまなければならないという義理はまったくなくないでしょう。私は朝吹登水子さんのフランソワーズ・サガン(一九三五―)の小説の訳をたのしく読みました。しかし、それは特別の場合で、訳者と原著者とのあいだに感受性のうえでの一種

るのでしょう。絶えず部分から出発するのか、場合によっては全体から部分をとらえ直すこともあるのか。これは単に言葉の問題ではなく、その背景にあるものの考え方そのものの問題です。「東洋と西洋」というような大上段の議論をここに持ちだしたり、また「日本対西洋」というような国民的感情の問題に、この問題をすり変えてみたりすることは、なんの役にも立たないことだろうと私は思います。問題はそういうことではなくて、もし東洋と西洋の考え方の違いがあるとすれば、どちらの考え方が第三者を含めての「世界」によく通じるか、つまり、普遍的な合理的な構造を持っているかという点でしよう。考え方というものは、東洋的だからよく、西洋的だから悪い、あるいは逆に、西洋的だからよく、東洋的だから悪い、ということだけは許してありません。考え方のよしあしは、その考えがどれほど人間に、または少なくとも時代に普遍的であるか、ということによってしか決まらないのです。

むかし、明治初年に、伝統的漢方医学と、いわゆる西洋医学との優劣について大きな論争が起こったときに、森鷗外は「医学に東洋も西洋もない、じつはただ一つの医学があるだけだ」といいました。その後の日本の医学はそういうことを前提として進んできたし、そういうことを前提として進んできたから、今日の水準にいたったのです。そこで、もう

一度言葉の問題にもどって言えば、外国語を外国語そのもののために勉強することにも、言葉の構造がものの考え方を制約し、ものの考え方が言葉の構造を制約する以上、大きな意味があるといわなければなりません。そういう目的のためにも、むずかしい本をとる必要はありません。読む本の文章はやさしければやさしいほどよく、単純であればあるほどよいでしょう。ただ、明瞭であることだけが必要です。

微妙なつながりがあるからでしょう。そういう特殊な場合には、翻訳を通じて、敏感な日本の読者が評価できないどんな小説もないといつてよいのかもしれない。要するに原則としては、必要な本はやさしい本である。その必要でやさしい本を読んで利用することに力を注ぎ、たのしみのための読書、ことに文学の読書は、日本文学で満足する。それを外国文学でおきなう場合には、主としてえらい小説家の日本語訳を讀んでみせる——これが多くの人のびととして、外国語の本に対する一番合理的な態度ではないかと思えます。しかし、それならば、相当むずかしい外国語の文章をいかに読むことが、それ自身役に立たないものであるかどうか。私は、もし、そういうことを好んでする人があり、そのために十分な時間をさくことができるとすれば、それもまた、かならずしもむだな進歩にはならないだろうと考えます。

その理由は、市場調査の報告書や機械工学の技術書を読んで仕事に役立てるといふ場合とは違って、外国語の言葉の構造そのものと読者が、いわば向きあうことになるからです。さて、日本語の構造と外国語の構造とは違って、もし、その外国語がヨーロッパ語であれば、その違いは、ヨーロッパ文化のなかに長いあいだ生きてきたものの考え方と、日本文化のなかに長いあいだ生きてきたものの考え方との違いをそのまま反映しています。たとえば、西洋語の構造は、まず主文章を示し、主文章のなかの部分で、関係代名詞を使いながら、あとへゆくほど綿密に分析的に述べてゆくという形をとっています。私は出かけた」ということがまずあり、その次に、それが「きのう」であって、目的地が「映画館」であったということが説明され、さらに、その映画館がどこにあったか、そこではどういう映画が上映されていたかというように詳細が続きます。同じことを日本語の文章でいう場合には、その構造が逆になって、まず、映画の名前から出発し、地名があり、それが映画館にかかり、その映画館のところまで読んだときには、そこへきのう私が行ったのか、行かなかったのかから、文章の最後まで読んだときにやっと全体の意味がわかります。「私が行った、映画館へ」という文章は、それをどこかで切つて、それそれの区切ったところまでの意味を持っています。ところが「映画館へ私がいっただ」という文章では、「映画館へ」までのところに独立の意味がありません。なぜならば、話し手と映画館との関係がまったくわからないかぎり、どんな映画館にも意味がありません。一方は、全体的な構造の枠から出発して部分におよびます。他方は、部分から出発して全体的な枠に到達しようとしています。文章が完結したときには同じであるとしても、その途中の過程はまったく方向が違っているといつてよいでしょう。

ところが、ものを考えるということは、それ自身が過程であって、完全に空間化されて完結した世界ではありません。だから、本を読むことと絵を見ることとは違います。絵を何時間見ても、その各瞬間に、私は絵の全体と相対しています。本は何處繰り返して読んでみても、ある瞬間には全体の評価のある部分に接しているだけで、けつして同時にその全体と相対することはありません。そういう考えの進む過程は一つの文章のなかにもあり、一つの文章から他の文章への動きのなかにもあります。また、第一章から最後の章への経過のなかにもあります。その過程が違ふということは、したがって、ものの考え方が違ふということにもなるでしょう。私たちは、複雑な考えを言葉なしに進むことはできません。数学的な思考が数学的記号を抜きにしては組み立てられないように、人間の考えは日本語とか英語とかいう言葉の記号の体系を使わずにはあり得ないものです。その記号の体系が違えば考えもまた違ふ。西洋語の文章の構造と相対するということは、したがって、日本語と違ふ西洋語の構造にあらわれている西洋式思考の過程と相対するということです。おそらく、そういう経験から利益をひき出すことのできる人は、大きな利益をひき出すことができましよう。簡単に言えば、部分から全体へという過程に加えて、全体から部分へというものの考え方もできるようになるかもしれません。それは思考力、ものを考える力の進歩です。いわば、一次元的な線の上の運動を、二次元的な平面の運動に拡張するようなもので、それは、ほとんどその人の世界を変えものであるといつてさしつかえないでしょう。そういうことは、単に不便の問題ではなく、また、そう簡単にできることでもないと思えますが、今後、日本の国がしだいに鎖国心理から抜け出して、世界のなかで自分を主張してゆくためには、そういうことも、じつは専門技術の吸収ということ以上に必要なことになるかもしれません。

観光旅行の通訳という程度の簡単なことではなく、もう少し複雑な通訳をしたことのある人は、だれでも、日本側の議論に翻訳の容易にできるものと、容易に翻訳できないものがあるといいますが、その違いはおそらく議論の形、ものの考え方の方向にかかわっている

【問題】

次の文章は、外国語学習について書かれた中田達也『最新の第二言語習得研究に基づく究極の英語学習法』からの抜粋です。これを読み、大学で専攻語としてフランス語を学ぶ上で重要なことは何か、考えたことを論じてください。ただし、わかりやすい文章で、論理的に、800字程度で自分の考えをまとめてください。

「ネイティブ・スピーカー講師から授業が受けられる」ことを売りにした英会話スクールは多くみられます。その背景にあるのは、「英語はネイティブ・スピーカーに習った方が良い」という信念でしょう。しかし、これまでの研究をふまえると、そのような信念は必ずしも正しくないようです。

その最大の理由は、母語話者であるからといって、その言語についてうまく説明できるとは限らないことです。専門的な話になりますが、言語に関する知識は、「宣言的知識」(declarative knowledge)と「手続き的知識」(procedural knowledge)とに分けられます。宣言的知識とは、言葉で説明できる知識のことです。例えば、「複数形の名詞を作るには、単数形の語尾に-sをつける」などの知識は、宣言的知識の一種です。一方で、手続き的知識とは、実際に何がができることを指します。例えば、英作文で複数形の名詞を実際に使える場合、この文法事項に関する手続き的知識があると言えます。

英語の授業では、まず複数形や過去形に関する文法ルールを明示的に教えることが多いでしょう。これは、宣言的知識を教えていることになります。その後、文法ドリルなどの練習を通して、そのルールが実際に使える状態を目指します。これは、手続き的知識の習得を目指しているといえます。

外国語学習者の場合、優れた宣言的知識を持っていても、手続き的知識には結びついていないことが多いようです。例えば、「複数形の名詞を作るには、単数形の語尾に-sをつける」というルールは知っているけれど、英語を話したり書いたりする際には、つい-sをつけ忘れてしまうことは珍しくありません。この場合、複数形の-sに関する宣言的知識はあるものの、手続き的知識の習得が不十分といえます。

一方で、母語話者の場合、手続き的知識を持っていても、宣言的知識を持っていないことが多くあります。例えば、「仮定法過去と仮定法過去完了のルールについて説明してください」と言われて、即答できる英語の母語話者は多くないでしょう。しかし、実際の会話や英作文では、彼らは問題なく仮定法を使えます。つまり、仮定法に関して手続き的知識を持っていても、宣言的知識を持っていないのです。

このような現象は、何も英語の母語話者に限った話ではありません。日本語でも、『食べる』という動詞は五段活用ですか？ 下一段活用ですか？』『楽しい』と『うれしい』はどう違いますか？』『は』と『が』はどう違いますか？』ときかれて、即答できる人は多くないでしょう。しかし、このような質問に答えられなくても、日本語母語話者であれば、「食べる」を正しく活用し、「楽しい」と「う

れしい」を使い分け、「は」と「が」を適切に使いこなせます。

出典：中田達也『最新の第二言語習得研究に基づく究極の英語学習法』、KADOKAWA、2023年、pp.26-28.

外国語学部ヨーロッパ言語学科スペイン語専攻 小論文(60分) 2次選考

【問題】

はじめに、以下の文章の内容を要約し、その後、文章の内容を踏まえ、今後の日本の外国人の受け入れについて自身の意見を述べなさい(文章を無視して自分の経験談だけを書かないように)。

(要約 300 字程度、自身の意見 600 字程度)。

政府が、外国人受け入れ政策の見直しを始めた。鈴木馨祐(けいすけ)法相が8月末に公表した「基本的な在り方」をめぐる論点整理の報告書に目を通すと、外国人が増えることを日本社会の安定を脅かす要因、とみる視点が強くにじむ。しかし検討の軸に置くべきは、管理の対象とする発想ではない。人権を重んじ、互いに理解と共生を深めていく視点だ。

論点は、経済成長を続けるためにどの程度受け入れることが適切か、賃金などの労働条件、財政や社会保障の制度、治安への影響など多岐にわたる。「社会との摩擦が許容度を超える兆候が見えた場合」に受け入れを制限する手法も検討課題に記された。

「国民の安全・安心を死守する」「犯罪には至らない素行不良行為」などの文言に外国人へのまなざしが透ける。一定のルールづくりは必要でも、人権軽視や排外的な風潮につながりかねない方向へ、議論が進んではならない。

「数字では表されない外国人集住地域又は国民に与える不安感」の調査も挙げるが、どう、客観性を確保していくのか。外国人の増加に漠然とした不安や違和感を抱く人は少ないだろう。だからこそ、社会を共につくる仲間として互いに文化や習慣への理解を深め、違いを尊重しながら共存していく「社会統合」のありようの議論が重要になる。都合の良い労働力と見るのではなく、同じ地域に暮らす互いの努力が基盤となる。

日本の人口に占める外国人は3%ほどだが、将来は10%を超えるとの予測もある。国・地方を問わず、政治のリーダーは統合の知恵と工夫を出し合い、「外国人もすべての人の人権を重視し、ヘイト行為を許さない」と毅然と主張する責任がある。「排外」の空気に引張られ、安易に規制になびいてはならない。

これまで外国人が日本に溶け込むための支援は、自治体や企業任せが色濃かった。しかし地域ごとに濃淡があってはならない施策だ。日本語や日本の社会習慣を学ぶ仕組みをどう整えるかなど、海外の事例も参考に、国は主体的に具体策を検討してほしい。多様性のある社会となって長い欧州でも、近年の大量の移民への対応では試行錯誤が続く。「共生」は簡単な歩みではないが、多様なルーツを持つ外国人という存在は経済に活力を与え、新たな発想や革新のきっかけにもなりうる。外国人が魅力を感じて、働きたい、暮らしたいと願う日本は、誰にとっても魅力的で豊かな社会となるはずだ。

朝日新聞 2025年9月5日朝刊

「外国人受け入れ 軸は理解と共生の視点」  
(承認番号(25-2889)朝日新聞社に無断で転載することを禁じる)

外国語学部ヨーロッパ言語学科イタリア語専攻 小論文(60分) 2次選考

【問い】次の文章はソーシャル・イノベーションを専門とする研究者が、イタリアの食と社会について多角的に論じた著作(大石尚子『イタリア食紀行』)の一部である。以下の設問に答えなさい。ただし、字数は自由だが、時間と点数の配分を十分考慮して、なるべく説得力のある記述に努めること。解答は解答用紙に記入しなさい。何番から記入しても構わない。

- (1) 全体を読んだ上で、この文章の主旨を簡潔にまとめなさい。(40点)
- (2) この文章がこの後どのように続くのかを推測して、その内容を書きなさい。(20点)
- (3) この文章で述べられていることに関して自由に自分の意見を書きなさい。(40点)

二〇一五年、イタリア経済の中心都市ミラノで万国博覧会が開催された。テーマは「食」。万博のテーマに「食」が取り上げられたのは世界初だった。しかし、世界各国の食材やグルメが一堂に勢ぞろいする、というわけではない。コンセプトは、「Feeding the Planet, Energy for Life(地球に食料を、生命にエネルギーを)」。飢餓や食料安全保障、生物多様性といった人類の存続に関わる重要な課題を人々に問いかけるものだった。あらゆる人々に最も身近な「食」をテーマに掲げて、社会のあらゆる問題にアプローチする、というわけである。

テーマが発表されたのは二〇〇八年。二〇一五年に国連がSDGs(持続可能な開発目標)を宣言することを予測していたかのようなものである。食の問題は、社会の持続可能性を左右する最も重要な政策テーマでもあり、SDGsの一七の目標すべてに関連付けられる。そのため、国連や欧州連合(EU)などの国際組織も、ミラノ万博を食料や農業政策について各国間で議論する場と位置付け、参加活動に力を入れていた。

イタリアの食と持続可能性にピンとくる人は、あまりいないかもしれない。同国の食文化の特徴は、土地との結びつきと多様性にある。それぞれの地域の気候・風土・歴史が、その土壌に合った食材を育み、その特性に合った料理法、保存法をあみだし、多様で魅力的な食文化を創ってきた。そこには必ず、大地の美しい風景がなくてはならない。地域のベレッツァ(Bellezza=美しさ)を、人々の観察で存続させてきた。イタリアは、食と持続可能性を語るに最もふさわしい国の一つである。

イタリアが統一されたのは、一八六一年である。明治維新と同じ頃。それまでは、地方が一つの国として存在する地方都市国家の寄せ集めだった。この歴史が、地域に根ざした強いアイデンティティを育むことにつながった。日本でも、江戸時代には幕府が全国を統治したが、住民は藩の統治を強く意識し、藩に対するアイデンティティがより強かった。食の習慣も同様で、各地に郷土料理がある。

しかし、日本では、一九七〇年代の高度成長期に、食生活が欧米化した。その代償として、地域食が失われた。核家族、共働き家庭が増え、ファストフードやファミリーレストランが普及した。外国産農産物が大量に輸入され、食のグローバル化が進展した。時間をかけて料理をしなくとも、コンビニ食で簡単に食事をまかなえるようになった。親から子へと引き継がれてきた郷土料理も、こうしたライフスタイルの変化から影響を受けている。地方から都市への移住が加速し、都市型生活の中で郷土料理を振る舞い、振る舞われる機会が減った。地域の食文化が子から孫世代に伝わらず、消滅しかかっている。

以下の項目から一つだけ選び、そのことについて、あなたの考えを800字以内で書きなさい。選んだ項目の番号を解答用紙の最初に必ず明記してください。

1. ロシア文学
2. ロシアの歴史
3. ロシアとの交流

イタリアも、日本と同じく一九七〇年代の高度成長を経験し、人口減少により農村は衰退している。北イタリアのミラノ、トリノ、ポローニャの三都市を中心に、自動車産業や機械・繊維産業が発達し、労働力が求められた。その労働力の供給源となったのが、都市部から離れた北東部の中山間部や南イタリアなど条件が不利な地域にある農村である。中世からの大地主制度(ラティフォンド)に由来する農村システムが残ったまま、戦後の復興期も産業が発達せず、粗放的農業を脱却することなく、収益の挙がる農業に転換できなかった。そのため、南部、シチリア島とサルデーニャ島、あるいは中部・北部の農村地域からは、大量の若者が北部の都市に流出した。

しかし、農村が衰退の一途をたどって東京一極集中が進む日本と違って、イタリアでは、地方都市の再興が見られる。例えば、一九七〇年代終りから八〇年代にかけて発達した独自の農村観光アグリツーリズム(農体験ができる農家民泊。アグリツーリズム法で自家製食材や地元産食材を一定割合以上使うことが義務付けられている)に注目したい。トスカーナ州の一族が、農村からフィレンツェなどの大都市に人口が流出していくことに抗し、「田舎には田舎ならではの美しさ、豊かさがある」と唱導し、美しい自然とその土地の食を満喫する潜在型観光を提案した。アグリツーリズムの始源である。これを正式に国として推進していくべく、戦略的に地元農家や地主などいろいろな人を巻き込むネットワークが立ち上げられ、ついには一九八五年、アグリツーリズム法まで制定された。

また、同時期に生まれたスローフード運動は、当時、ローマの中心地に進出してきたファストフードに対峙し、地域に根ざした食や伝統料理法を守り、継承しようと、田舎町の小さなサークルが始めた運動である。今や世界一六〇ヵ国以上にまたがる国際NPO団体に成長し、生物多様性の保護や食の主権の回復をミッションとして、EUや国連へのアドボカシー活動(意見や意思の表明や、権利の行使を支援すること)を展開している。EUの二〇五〇年までの食料システム総合戦略「Farm to Fork(農場から食卓まで)」の策定にも関わり、有機農業やアグロエコロジーのコンセプトの導入に貢献した。

外国語学部ヨーロッパ言語学科メディア・コミュニケーション専攻 小論文 (60分) 2次選考

以下のテーマについて、800～1000文字程度で答えてください。

**【問題】**

青少年によるインターネット、交流サイト（SNS）利用をめぐる課題や対策についての議論が国内外で活発になり、利用を規制する動きも出始めている。青少年に対してなぜ規制が必要なのか、どのような規制方法が有効と考えられるか、規制を加えることにより何らかの弊害が出る恐れがあるかなどの観点から、論じるべき具体的ポイントと自分の考えをまとめて記述してください。

外国語学部アジア言語学科中国語専攻 小論文 (60分) 2次選考

〔I〕まず、次の文章を要約しなさい。続いて、自動翻訳が発達する時代において、私たちが外国語を学ぶ意義は何だと思えますか？あなた自身の経験を踏まえて論じなさい。（1000字以上、1200字以内）

## 母国語OK、職場環境改善へ 長岡京の工場、18言語翻訳アプリ

深刻な人手不足を背景に外国人従業員の雇用が進む中小企業。従業員の半数が外国籍で「言葉の壁」に悩んでいた京都の町工場は、18言語に自動翻訳されるアプリを活用し、職場環境の改善を図っている。社長は「母国語で働ける環境を整えていかないと、日本のものづくりは生き残れない」と危機感を抱く。

金属加工を手がける小林製作所(長岡京市)には、ベトナム語やタイ語のカレンダーや業務指示が、工場の至る所に貼られている。

1955年創業でフォークリフト、建設機械などの加工を手がけ、従業員はおよそ110人。そのうちタイやベトナムが出身の外国人は約60人。人手不足で日本人の採用が難しくなった12年ほど前から外国人の採用を始めた。多くが技能実習生や特定技能外国人(1号)という。

外国人に対して、日々の連絡事項を掲示板に載せ、朝礼などでも口頭で業務連絡をしていた。だが、日本語の指示を正確に理解できていなくても「はい」と返してきたり、同じミスを繰り返したりするケースが目立っていた。日本人従業員だけでなく、外国人同士でも言語の壁があったという。

課題解決のため、東京のIT企業「カミナシ」がつくった多言語対応の連絡ツール「カミナシ 従業員」を1月に導入した。従業員がスマートフォンや工場のパソコンで、日本語やベトナム語、タイ語などそれぞれの母国語で連絡事項や相談を入力すると、受け取る人の母国語に瞬時に翻訳されて日本語と併記されて届く。

3代目の小林裕明社長(47)は「どうしても日本語が得意な従業員に業務指示が偏ってしまい、60人もいと1年に1回ほどしか話さない人もいた。みんながフラットにオープンにコミュニケーションがとれる方法を探していた」と話す。

カミナシ導入後は、外国人従業員が写真をつけて「製品に傷がついています。どうしたらいいですか」と周囲に助けを求めやすくなり、業務改善の提案も出るようになったという。小林社長は「外国人従業員からのコミュニケーションが増えた。彼らが『わからない』と声をあげられるようになったことが重要。意見をもらい、職場環境や業務改善につなげていきたい」と期待を込める。

韓国や欧州、東南アジアでも職種によっては日本より賃金が高くなり、タイに現地法人を持つ小林製作所でも外国人の採用が難しくなっている。小林社長は「世界中で人材の奪い合いの中、彼らの声を聞き、母国語で働きやすい環境を整え、寄り添う企業にならないと生き残っていけない」と話す。

(2025年7月18日 朝日新聞朝刊 一部省略あり)  
(承認番号(25-2889)朝日新聞社に無断で転載することを禁じる)

## 【問題】

大学の外国語学部韓国語専攻卒業者に期待される姿とはどのようなものであろうか?自らの学習計画に関連させて具体的に述べなさい。(800字以内)



問2 以下は国語科の授業にさまざまな方法で生成AIを取り入れてきた中学校教諭の文章である。これを読んで、国語教育や日本語教育で生成AIを活用する際の利点と欠点について、あなたの考えを述べなさい。字数は400字程度とする。

中学2年生の最初に取り組んだのは、<sup>まつとら</sup>松任谷由実さんによる歌詞「春よ、来い」を解釈するという学習だった。私の教室では、春になると「春よ、来い」を生徒とともに読むことが多い。この時期にぴったりな春のイメージが歌と歌詞にあふれていること、ちょっと古風な<sup>まこと</sup>語彙が使われていること、そして謎めいた内容であることがこの作品の魅力だ。いつもの授業では、この歌詞に登場する「君」がどんな人物か話し合い、文脈から突き止めていく活動を行っている。今回はその学習活動の中でAIによる解釈も紹介することにした。AIが詩をどう解釈するか、その方法から私たちも学べるものがあるのではないかと考えたわけだ。

まず生徒が自分なりの解釈を行った後に、教師がAIと同じ問いを投げかけた。そして、生徒は、AIと自分の解釈を比較し、どこが同じで、どこが異なり、どの部分が参考になり、どこに少し違和感があるかなどを考えた（2023年4月当時は、まだAIの性能がそれほど高くなく、時にはトンチンカンな解釈を生成することもあった）。

ここで興味深かったのは、AIと人間の、詩の解釈のしかたの違いだ。

人間は、これまでの経験や感性に基づいて詩を理解しようとする。いっぽう、AIには「人生経験」や「感性」などがいっさいないにもかかわらず、解釈らしきものを生成することができる。それはなぜなのか。AIと人間の解釈のしかたには根本的な違いがある。人間は、これまでの経験や感性、時には感情を頼りに歌詞を理解しようとするが、AIは膨大なデータベースを基に、パターンや文脈の関連性を分析して解釈を導き出す。だからこそ、センスや経験がないAIでも、ある程度、妥当な解釈を導くことができる。

このことは、「自分には詩を理解するセンスがない」と感じている生徒にとっては、希望のメッセージとなるかもしれないと感じた。「センスがなくなつて、AIが機械的・客観的にここまで読み取れるのなら、自分にだって詩を理解できるようになるかもしれない」と。

この学習で「自分軸」の観点から考えて重要なのは、まず自分で解釈してみるということだろう。最初からAIに頼ってしまうと、それがあたかも正解のように見えてしまう。まずは自分自身でしっかりと考え、そのうえでAIの解釈と向き合うことで、その違いから何かを学び取ることができる。

(渡邊光輝「国語科AI活用の鍵、それは『自分軸』」(みつむら web magazine/光村図書出版)  
<https://www.mitsumura-tosho.co.jp/webmaga/jugyou/c-kokugo-ai/detail01>)

〔I〕 次の問いに答えよ。(答えのみでも良い。)

(1) 関数

$$(1+x^4)^{\log(1+x^2)}$$

を  $x$  について微分せよ。

(2) 関数

$$\int_0^{x^3} \cos(t^2) dt$$

を  $x$  について微分せよ。

〔II〕  $n$  が自然数であるならば

$$\log(1+n) < \sum_{k=1}^n \frac{1}{k}$$

であることを証明せよ。

[I] 図1に示すように、軽いばねの端に小球をつけ、なめらかな水平面上に置き、もう一方の端を壁に固定する。ばねが自然長のときの小球の位置をOとする。ばね定数を  $k$  とする。ばねを伸ばす方向に点Oから  $x_0$  ( $x_0 > 0$ ) だけ小球を移動させて静かに手を放したところ (手を放した瞬間の時刻を  $t = 0$  とする)、小球は単振動を始めた。点Oを原点として  $x$  軸をとり、ばねが伸びる向き (図1の右向き) を正の向きとする。

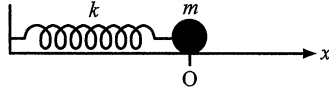


図1

- (1) 単振動の角振動数  $\omega$  と周期  $T$  を  $x_0, m, k$  のうち必要なものを用いて表せ。
- (2) 小球が持つ弾性力による位置エネルギーの最大値を  $x_0, m, k$  のうち必要なものを用いて表せ。
- (3) 小球の運動エネルギーが最大となるとき小球の位置を答えよ。
- (4) 小球の速度の大きさの最大値  $v_{\max}$  を  $x_0, m, k$  のうち必要なものを用いて表せ。
- (5) 小球の加速度の大きさの最大値  $a_{\max}$  を  $x_0, m, k$  のうち必要なものを用いて表せ。
- (6) 図2を解答用紙に書き写して、小球の変位  $x$  と時刻  $t$ 、小球の速度  $v$  と時刻  $t$ 、小球の加速度  $a$  と時刻  $t$  の関係を表すグラフをそれぞれ描け。なお、図2の横軸の  $T$  は単振動の周期を意味する。

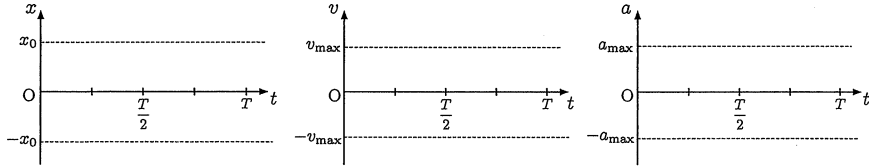


図2

[II] 次の問いに答えよ。

- (1)  $0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、次の方程式を解け。  

$$\sin 2\theta - \sin \theta = 0$$
- (2) 関数  $f(x) = \int_1^x (t-1)(t-2)dt$  について、次の問いに答えよ。  
 (a)  $f(x)$  を求めよ。      (b)  $f(x)$  の極値を求めよ。
- (3) 円  $x^2 + y^2 = 5^2$  上の点  $P(3, 4)$  における接線の方程式を求めよ。

以上

## 2024年度 次世代型リーダー選抜入試 「社会課題とリーダーシップ」セミナーレポート

- ※注意点
- 1) 「志望学科」は、出願時に選択した学科を書いてください。
  - 2) 「タイプ」は、出願時に選択したほうを○で囲んでください。
  - 3) 「講義メモ」を見てもかまいません。
  - 4) 指定された解答欄の枠内におさまるように記述してください。

本日の講義内容にそって、次の問いに答えてください。

- ① 「次世代型リーダー」とは、どのようなリーダーでしょうか。説明してください。

- ② 「次世代型リーダーに必要なリーダーシップ」として、具体的にどのようなものが挙げられていましたか。説明してください。

- ③ カリスマ的リーダーシップの問題点とそれを乗り越える方法について記述してください。

- ④ 「分析」の具体例 (自身の経験や見聞きしたこと) と、その問題点を挙げ、リーダーシップをふまえた解決策を提示してください。  
 (※講義で取り上げた「アメリカの政治的分析」と異なるテーマで記述してください)

## 京都産業大学 入学センター

〒603-8555 京都市北区上賀茂本山

TEL. (075) 705-1437

<https://www.kyoto-su.ac.jp>